



2022年12月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年11月10日

上場会社名 株式会社資生堂 上場取引所 東
 コード番号 4911 URL https://corp.shiseido.com/jp
 代表者（役職名） 代表取締役 社長 CEO （氏名） 魚谷 雅彦
 問合せ先責任者（役職名） IR部長 （氏名） 廣藤 綾子 （TEL） 03-3572-5111
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 （投資家・アナリスト等向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2022年12月期第3四半期の連結業績（2022年1月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		コア営業利益		営業利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期 第3四半期	762,743	4.7	36,235	21.9	35,660	△62.7	31,745	△34.8	29,046	△38.2	106,166	42.9
2021年12月期 第3四半期	728,430	—	29,715	—	95,588	—	48,671	—	47,019	—	74,270	—

（参考）税引前四半期利益 2022年12月期第3四半期 43,585百万円（△53.8%） 2021年12月期第3四半期 94,278百万円（—%）

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第3四半期	72.70	72.65
2021年12月期第3四半期	117.70	117.60

（注）コア営業利益は、営業利益から構造改革に伴う費用・減損損失等、非経常的な要因により発生した損益（非経常項目）を除いて算出しています。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年12月期第3四半期	1,358,012	642,749	620,891	45.7
2021年12月期	1,300,979	562,179	540,695	41.6

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	—	20.00	—	30.00	50.00
2022年12月期	—	25.00	—	—	—
2022年12月期(予想)	—	—	—	75.00	100.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2022年12月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当25円00銭 創業150周年記念配当 50円00銭

3. 2022年12月期の連結業績予想（2022年1月1日～2022年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		コア営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	1,070,000	5.9	40,000	△6.0	41,200	△58.4	25,500	△45.6	63.83

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2022年12月期3Q	400,000,000株	2021年12月期	400,000,000株
-------------	--------------	-----------	--------------

② 期末自己株式数

2022年12月期3Q	452,149株	2021年12月期	506,767株
-------------	----------	-----------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2022年12月期3Q	399,535,079株	2021年12月期3Q	399,477,665株
-------------	--------------	-------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(国際財務報告基準(IFRS)の適用)

当社グループは2022年12月期第1四半期より、国際財務報告基準(IFRS)を任意適用しており、前年同四半期累計期間および前連結会計年度の数値も、IFRSベースに組み替えて表示しています。

(将来に関する記述等についてのご注意)

当資料の記載内容のうち、歴史的事実でないものは、資生堂の将来に関する見通し及び計画に基づいた将来予想です。これらの将来予想には、リスクや不確実な要素が含まれており、実際の業績などは、記載の見通しとは異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、【添付資料】7ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。